

研究課題名「インスリンインシデント対策及び評価」に関する情報公開

1. 研究の対象

2016年7月から2018年6月までにヒューマリンR注100単位/mLを血糖コントロールのために治療上投与計画において当院のインシデントレポートシステムに報告された患者。

2. 研究目的・方法・研究期間

インスリンの投与に関係するインシデントは患者の生命維持に直結することから、その対策がきわめて重要ですが、その原因は、多くの場合、複雑かつ多岐にわたります。インスリンインシデントの傾向を解析することは、インシデント防止に直接有効であるばかりか、病院スタッフの継続的な教育にも非常に有益となります。

当院が受審を検討している、国際的な病院機能評価機構である Joint Commission International (JCI) では、誤った投与が患者に多大な影響を及ぼす薬剤を特定しハイアラート薬として厳しく管理することを病院に求めており、当院においても2017年7月よりヒューマリンR注100単位/mL(以下ヒューマリンR)をハイアラート薬に指定しております。

ヒューマリンRは日本医療機能評価機構からもその過量投与について注意喚起がなされており、当院においても過去に同様のインシデントが発生していた経緯があります。ヒューマリンRをハイアラート薬に指定前後におけるインシデントの傾向分析・評価を行い、ひいてはインシデント発生件数の削減を目的としております。

研究方法

研究対象期間は2016年7月から2018年6月までにヒューマリンRによるインシデント報告をインシデントレポートシステムより抽出します。ハイアラート薬指定前後にて解析を行い、発生件数削減の検討を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報の種類

報告者の職種・立場、経験年数、影響度レベル、背景、医療者側・環境の要因など

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：郵便番号 466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65 電話：052-744-2680

担当者氏名：名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 久保田 亜希

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 山田 清文